

49

■クログミの歌うキャンプ場

南葉高原 (上越市・新井市)

■環境：森林
 ■対象：家族
 ■期間：5月上旬～7月上旬

上越市の西に横たわる南葉山は標高949m、その中腹で登山コースの玄関口になっているのが南葉高原キャンプ場である。標高500m付近に位置し、日本海から頸城平野にかけての眺望が楽しめる。沢筋からはオオルリの声が聞こえてくる。

<早朝のキャンプ場にクログミの歌が響く>

残雪がようやく消え木々の若葉の鮮やかな5月、南葉高原に夏鳥が訪れ、にぎやかなさえずりがはじまる。

南葉高原へのアプローチには二つのコースがある。一つは灰塚集落から入る上越市側のコースであり、もう一つは青田川に沿って入る新井市よりのコースである。どちらも全行程舗装されており車で登ることができる。南葉高原に着いたら、南葉ロッジ付近でまず

耳を澄ませよう。ウグイス、ホオジロ、ホトトギス、クログミ、沢筋からはオオルリ、南葉山の山腹からはツツドリといろいろな鳥の声が聞こえてくる。ロッジ付近の木立に

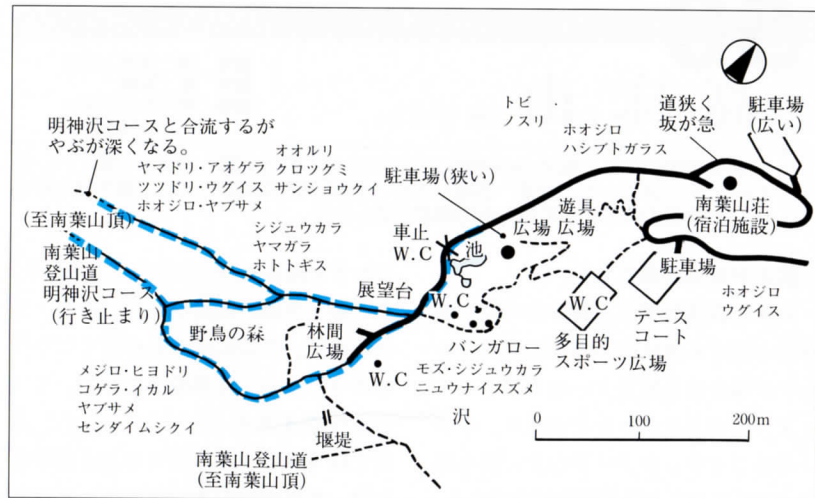


南葉山のふもとに広がるキャンプ場

はシジュウカラ、ニュウナイスズメ、モズ、ヒヨドリ、イカルなどが訪れる。

<野鳥の森にセンダイムシクイのさえずり>

キャンプ場を抜け散策コースを野鳥の森に入る。野鳥の森は6月には木々の葉が茂り観察しづらい。しかし5月上旬～中旬であれば、渡来直後の夏鳥の姿や声を間近に見聞きできる。キビタキやセンダイムシクイのさえずりやコゲラのドラミングが聞こえ、メジロやシジュウカラ、ヤマガラなどの小群



が鳴き交わしながら頭上のこずえを過ぎてゆく。

<登山道に響くヤマドリの羽音>

南葉高原キャンプ場は南葉山登山道の入り口にあたる。山頂を目指しながら探鳥をするのも良いが、登山道を少し入ってみるだけでも十分楽しめる。特に二つある登山道のうち明神沢コースは、沢沿いの斜面に沿った道からはじまり、しばらくは登りもなく空間的に開けている。そのため6月に入って緑が濃くなった時期でも鳥の姿をスコープに入れることができる。こずえでさえずるオオルリやクログミを探してみよう。また斜面から飛びたつノスリや上空を鳴き渡るサンショウクイ、ホトトギス、ツツドリ、足下のヤブからはウグイスやヤブサメのさえずりも

にぎやかである。また、この斜面ではヤマドリが翼を打ち鳴らす「ドロロロ」というドラミング音を時々聞くことがある。(曾我茂樹)

メモ

交通 JR高田駅から青田行きバス「灰塚公民館前」下車、徒歩90分(7km)。南葉高原への直接のバス路線はない。自家用車がよい。

☐ キャンプ場入り口に大きな駐車場あり。ロッジ付近にも駐車スペースはあるが狭い。また入り口の駐車場からロッジまでの道は、舗装されているが狭く車のすれ違いは難しい。要注意。
探鳥会 定期的なものはない。周辺には「後谷ダム」、キャンプ場登り口から北へ約1km。オシドリが観察できる。また途中の沢筋にはノジコも見られる。